

## 船小の児童らが募金活動 トルコ・シリア大地震被害者へ役立てて

船越小学校（石川修司校長、児童66人）の山崎一苺君（4年）と山崎然君（2年）兄弟は、校内で集めた募金を町に寄せてくれました。トルコ・シリア大地震で被害に苦しむ人たちのために2月27日から3月1日までの3日間、募金の協力を呼び掛けたもので、二人は「兄弟で貯めたお金も入っています。被害に遭った人たちのために使ってください」と3月23日、寄せられた現金1万円を佐々木茂人教育長に手渡しました。募金は日本赤十字社を通じ義援金として現地に届けられています。



## 元山田病院長と副院長に感謝状 町の復興と地域医療の推進に貢献

3月29日、元山田病院長の宮本伸也医師と副院長の吉田樹由医師へ佐藤信逸町長から感謝状が贈られました。平成27年4月から山田病院に勤務し今年3月に退任された両医師。東日本大震災後の混乱が続く中、被災者に寄り添った診療を行うなど、保健医療面から町の復興を支え、地域医療の推進に貢献されました。退任後も引き続き同病院で勤務することになったお二人は、「これからも町民の皆さんに寄り添った仕事をしていきたいです」とお話され、これからも医療現場を支えます。



## 2人が100歳を迎える



### 田の浜地区の菊地雄介さん 元気いっぱいにはつらつと

3月26日に菊地雄介さん(田の浜)が100歳を迎えられました。菊地さんは田の浜地区生まれの田の浜育ち。中学校卒業後はワカメ養殖を中心に漁業を営み、77歳まで働きました。現在は、4人の子どもと7人の孫、12人のひ孫に恵まれ、幼いひ孫たちの成長を見守りながら、お小遣いをあげるのを楽しみにしています。長寿の秘訣は、「自分の体を把握し、無理をしないように気を付けること。おかげで今でも元気に歩けます」とはつらつとした表情で話していました。



### 織笠地区の福士リキさん 「3食しっかり」が元気の秘訣

4月11日に福士リキさん(織笠)が100歳の誕生日を迎えられました。同日、佐藤信逸町長が自宅を訪問し、「これからも元気で長生きしてください」と長寿を祝福し、賞状を手渡しました。福士さんは織笠地区の生まれで10人兄弟の末っ子として出生。漁業を営む旦那さんと結婚し、主なノリ養殖の手伝いなどをしてきました。趣味は読書で今でも新聞や本を読むのが楽しみとのこと。長寿の秘訣は、「好き嫌いをなく3食しっかりと食べること」と規則正しい食生活が元気の源になっているようです。



# 町のあだい

今月の題字 山崎 そう 想さん (船越小4年)



歴史・文化の説明を受ける参加者  
(霞露ヶ岳ジオトレッキング)



地層の歴史説明を受ける参加者 (豊間根川ジオ散歩)



登山が終わりゴールを迎える参加者  
(霞露ヶ岳ジオトレッキング)

## ジオパークイベントに30人 大地の成り立ちや植生学ぶ

歩きながら町内にある地層や地形などの自然遺産を学ぶ町主催のジオパークイベントが3月21日と25日に開かれ、延べ約30人が参加しました。21日に行われた「豊間根川ジオ散歩」では、約3ヶ所先の上流まで歩いた後、約2億年前に形成された地層を見学。ガイドの説明に耳を傾けながら豊間根の地質の特徴や大地が成り立つまでの歴史に理解を深めました。25日には、「霞露ヶ岳ジオトレッキング」が行われ、霞露ヶ岳に自生する植物などについて学びました。3時間以上歩く体力が求められたイベントですが、ゴールに着いた参加者らは満足した表情で汗を拭っていました。

## 町内小学校で入学式 新たな生活に胸膨らませる

多くの人が新たな門出を迎える4月。7日には豊間根小学校(富澤ひろこ校長、児童122人)の入学式が行われ、男子10人、女子12人の計22人が元気に登校しました。式では、ちょっぴり緊張気味の様子でしたが上級生や父母らが見守る中、名前を呼ばれると「はい」と大きな声で応える新入生。富澤校長は「優しいお兄さんやお姉さんたちがいますから安心して学校生活を送ってくださいね」と歓迎しました。この日は、町内各小学校で一斉に入学式が行われ、99人(男子57人、女子42人)が新たに始まる学び舎での生活に胸を膨らませていました。

